

米百俵プレイス（仮称）人づくり・学び・交流エリア
「まちなか図書館（機能）基本計画」



米百俵プレイス（仮称）外観イメージ

令和3年3月

長岡市中心市街地整備室

目 次

第1章 まちなか図書館の整備	
1 まちなか図書館の設置の背景	1
～米百俵プレイス(仮称)人づくり・学び・交流エリアの整備～	
2 まちなか図書館基本方針	2
3 施設概要	4
4 これまでの検討経緯	6
第2章 まちなか図書館における事業展開	
1 事業内容	7
(1)仕事や暮らしに関する情報提供	7
(2)各種専門機関と連携した相談窓口	8
(3)知的空間の創出	8
(4)各種情報紹介機能を重視したホームページ	8
2 中央図書館・地域図書館との役割分担	9
3 スマート図書館化計画の推進	9
第3章 資料整備計画	
1 資料収集方針	11
2 資料提供	12
3 配架	12
4 図書テーマ	13
5 収集資料別概要	15
(1)図書 (2)新聞 (3)雑誌	
(4)電子書籍及びデジタルコンテンツ (5)データベース	
第4章 他機能との連携で提供するサービス	
1 起業支援・経営支援	18
～4大学1高専のイノベーション拠点・産業ビジネス支援の拠点との連携	
2 子どもの新しい学び ～子どもラボとの連携～	18
3 若者の居場所、若者のチャレンジを支援 ～若者ラボとの連携～	19
4 歴史人物史展示	19
5 その他	19
第5章 管理・運営	
1 開館日・開館時間	20
2 運営体制	20
第6章 開館までのスケジュール	22
参考資料	23

第1章 まちなか図書館の整備

1 まちなか図書館の設置の背景 ～米百俵プレイス(仮称)人づくり・学び・交流エリアの整備～

100年先の長岡のために ～まちなかに人づくりと産業振興の新たな拠点・米百俵プレイス(仮称)～

人口減少や産業の担い手不足などさまざまな課題を解決し、100年先の長岡を創っていくためには、これまでの固定観念にとらわれない人づくりと産業振興が欠かせません。

長岡市は、大手通坂之上町地区の市街地再開発事業で、その拠点となる施設「米百俵プレイス(仮称)」を米百俵の精神から生まれた国漢学校の跡地に整備します。

この中で市が整備する「人づくり・学び・交流エリア(仮称)」は、①人づくり・学び ②産業振興 ③にぎわいの3つの観点で機能を導入し、「人と交流し、多くの情報が得られ、新しいチャレンジの機会に出会える複合施設」を目指しています。さらに、中心市街地に整備してきたアオーレ長岡をはじめとする施設と連携し、全市へのイノベーション(新たな価値の創造)、新たなにぎわいと回遊性を高める人の流れを作り出します。

- ・ 米百俵プレイス(仮称)は、「人づくりと産業振興を総がかりで支える地方創生の拠点」づくりをコンセプトとして定め整備を進めています。これはこの場所がかつて米百俵の精神で創られた国漢学校の跡地であり、現在の長岡を形づくった重要な場所であることに起因しています。
- ・ 米百俵プレイス(仮称)に整備する人づくり・学び・交流エリアには、「未来の長岡を支える人づくり・学びの拠点(知的創造)」、「新しい産業を興す人材・仕掛けの拠点(産業人の育成)」、「産業界のイノベーションを促進する4大学1高専の拠点(産業基盤の強化・新技術開発)」の3つの機能を柱として整備します。
- ・ これからの長岡を担う人材育成や産業振興、長岡版イノベーションの促進をはじめ、まちなかの新たなにぎわいや回遊性を高める人の流れを創出し、これからの新しい米百俵の精神を将来へ継承していく場とします。
- ・ 長岡版イノベーションでは、これからのまちづくりの大きなテーマとして技術革新のみならず、教育・人材育成・地域づくり・福祉・環境など市政のすべての分野において新しい価値を創造し、イノベーションを創出する効果を市内全域に波及させます。

2 まちなか図書館基本方針

米百俵プレイス(仮称)に導入するまちなか図書館は、単に互尊文庫の現状機能の移転とするのではなく、新たな施設全体で互尊文庫の精神性や「修養の場」としての役割を引き継いでいくことはもちろん、まちなかの特性にあった新しい機能を充実させた魅力ある図書館とします。

■ 基本方針

- ・ 「米百俵の精神」発祥の地、国漢学校の跡地という場所性を活かす
- ・ 地域の特性、教育、将来を考えたものを特徴(資料収集方針)にする
- ・ 産業人の育成、産業・起業支援を特徴(資料収集方針)にする
- ・ 気軽に誰でも利用でき、にぎわいを創出する
- ・ 利用者ニーズを反映した資料を取り揃えいつ来ても楽しむことができる空間づくりを行う



米百俵プレイス(仮称)内のまちなか図書館は、
起業・創業・経営支援などの産業振興をはじめ、市民の豊かな暮らし方、働き方を
応援する、課題解決型・知的サポート型図書館を実現します。

- ① 主な利用者はビジネスパーソンや中高生、日中は主婦、高齢者
利用者ニーズを捉え“まちなか”ならではのサービスを展開します

まちなかという場所の特質上、利用者には目的を持った人以外にも待ち合わせや時間つぶしなどで施設を訪れる人も多くなることが予想されます。まちなか図書館では訪れた人が自分の想定していない本に思いがけず出会ったり、その本によってさまざまな世界(分野)がさらに広がるような機会を創出する仕掛けづくりを行います。

② 利用者が抱える課題の解決に役立つ図書館

起業・創業経営支援などの産業振興をはじめ、利用者の生活に密着した「しごと」や「くらし」に関する調べものや相談、情報提供サービスに重点をおき、利用者が抱える課題の解決に役立つ図書館を目指します。

③ 他の機能と連携し、土台となる知的サービスを実現

米百俵プレイスは子どもや若者の学び、産業ビジネス振興といった機能も有する複合施設であるため、各機能が展開するプログラムにおいては各機能が最大の効果を得られるよう、まちなか図書館はこれらの機能と相互に連携し、土台となる知的サポートを行います。

④ まちなかの居心地良いリビング、憩いのサードプレイスに

多様な閲覧スペースを設け、インテリアや家具は利便性が高く多様性のある、さまざまなタイプのものを採用します。また、まちなかの知的空間にふさわしい環境として、利用者がリビングのように居心地がよく、会社や自宅とは違うサードプレイスの場となるような雰囲気づくりを目指し、にぎわいを創出します。

■ 利用者メインターゲット

- ・ 学生(小学生、中学生、高校生、大学生)、20代の若者
→ 気づき、探求を深める、自ら問いを立て解決する力を養う
- ・ ビジネスパーソン
- ・ 起業を目指す人
- ・ まちなかを訪れている人

3 施設概要

まちなか図書館の施設概要を下記のとおりとします。

ア 名称

米百俵プレイス(仮称)人づくり・学び・交流エリア(仮称)

まちなか図書館(仮称)

イ 設置根拠

図書館法(昭和25年法律第118号。)第10条の規定に基づき設置します。

ウ 再開発事業施行地区の区域

長岡市大手通二丁目、表町二丁目、坂之上町二丁目及び東坂之上町二丁目
の各一部

エ 構造

鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造

オ オープン予定

令和5年度 一部オープン(書架、閲覧席)

令和7年度 全館オープン(書架)

カ 面積

専有面積 約1,920㎡

米百俵プレイス(仮称)人づくり・学び・交流エリア(仮称)1階、3階、4階、5階の一部



キ 構成

1階 図書返却ポスト

3階 約 1,750 m²(書架、閲覧スペース、図書館カウンター、バックヤード含む)

4階 約 170 m²(サイレントルーム)

5階 約 700 m²(書架、閲覧スペース)

ク 蔵書数

全体 4.0 万冊 (3階 3.5 万冊 5階 0.5 万冊)

ケ 座席数

600 席(人づくり・学び・交流エリア施設内すべての席の総数)

※互尊文庫学習室の座席数は 108 席

※閲覧・学習・打ち合わせ・商談・会・待ち合わせ・休憩などさまざまな用途を含む

4 これまでの検討経緯

平成 29 年度

市長と有識者等による検討会議を設置し、人づくり・学び・交流エリアの導入機能、コンセプト、特徴、空間のあり方、配置イメージ等について検討

平成 30 年度

市民から広く意見を聴取することを目的として市民ワークショップ(全3回)を開催
市民からのアイデアは基本計画・基本設計に反映

令和元年度

実施設計、空間高質化検討(※添付の参考資料を参照)を実施

令和 2 年度

サービス計画(書架配架等を含む)の検討を実施、整備方針とりまとめ

第2章 まちなか図書館における事業展開

1 事業内容

A 情報収集・閲覧

- ・最新の資料を備え、利用者が常に新しい情報に触れることができる機会を創出します。
※蔵書数4万冊(このほか電子書籍等の資料を備える)
- ・利用者が何度でも行きたくなる居心地のいい空間をつくります。
- ・利用者の気づきや問いが生まれる資料の収集を行います。

B 調査相談・支援

- ・利用者の「なぜ？」に応える場にします。
- ・利用者が調べたいこと、悩みや課題を解決するための支援を行います。

C 関連機能との連携

- ・米百俵プレイスに導入する他の機能と連携した取り組みを積極的に行います。
- ・利用者の自発的な学びや意欲を掘り起こし、人材や産業の育成の一翼を担います。

D 多世代交流・にぎわい創出

- ・施設内にはカフェや広場を設け、多世代が集い出会い交流が生まれる場(居場所)をつくります。
- ・施設はもちろん、まちなか全体を「本」によってつなぎ、にぎわいを創出します。
- ・ICTを活用することにより、利便性が高く快適な図書館空間を実現します。
※デジタルサイネージ、Wi-Fi、IC タグ

(1) 仕事や暮らしに関する情報提供

- ・まちなか図書館は、まちなかに集うビジネスパーソンを支える事業を重点的に行います。まちなかで働く方はもちろん、起業・創業を志す方、就職・転職を考えている方、中小企業経営者や個人商店の事業主、在宅勤務の方、出張等で長岡市を訪れている方などにも、仕事に有用な様々な資料を提供するとともに、展示やセミナー・講演会などを通じ、仕事や調べものに役立つ実践的な情報を提供します。

- ・ まちなか図書館が情報の入口として、各種専門機関や行政機関、市外の公共図書館等を結ぶことにより、利用者の仕事に必要な資料・情報を提供し、長岡市のビジネスの活性化に寄与します。
- ・ また、まちなかは、ビジネスパーソン以外にも、たくさんの市民が集まる場でもあることから、市民が抱える日常の暮らしに関する課題の解決に役立つ情報やサービスも提供します。

(2) 各種専門機関と連携した相談窓口

- ・ 利用者の課題に対し、より直接的な回答ができるよう、各種専門機関の相談員が相談に応じます。(5階のサロンに専門家が常駐) まちなか図書館では、相談の際に必要な資料・情報を提供し、効果的な課題解決を支援します。

(3) 知的空間の創出

- ・ 利用者がまちなか図書館にゆっくりと滞在し、落ち着いて調べものや資料の閲覧を行うことができる環境を整えます。館内には、飲み物を持ち込むことができるようにし、市内の図書館との差別化を図ります。
- ・ 4階には、周囲と仕切られ、静かな環境で読書や調べものができる閲覧席(サイレントルーム)を設置します。さらに、複数の利用者が調べものや仕事を共同で行うことができ場を設け、利用者の交流から生まれる新たな創造的活動を促します。
- ・ そのほか、まちなか図書館利用者を支える設備として館内には無線 LAN 環境、電源、プリンター、利用者用コピー機、ロッカー等を整えます。
- ・ まちなか図書館全体に創造性を湧き立たせるための資料や、課題解決を支えるための資料、利用者に役立つ設備を整えることにより、ひとりひとりが、自らの考えをまとめ、発信し、そして、利用者の様々な活動が豊かに広がる知的空間を創出します。

(4) 各種情報紹介機能を重視したホームページ

- ・ まちなか図書館から発信される情報を見つけやすく、わかりやすくするため、案内役としてのハブ機能を持ったホームページを持ちます。

2 中央図書館・地域図書館との役割分担

- ・ まちなか図書館はまちなか来訪者やビジネスパーソン、情報を求める市民等のために、新鮮な資料・情報を提供する役割があります。
- ・ 一方、中央図書館は、市内図書館の中心施設として、一般書をはじめ、新聞、雑誌、参考資料、郷土資料など各図書施設で収集した資料を保存する役割を担っており、過去の資料を多数保存しています。このため、中央図書館は豊富な蔵書を背景に幅広い分野にわたり過去の事業や経過まで遡った調べものを行うことが可能です。
- ・ まちなか図書館は、まちなかに集う人々のために特色ある資料構成とすることから、必要に応じて中央図書館(各地域図書館も含む)の豊富な情報を取り寄せ、利用者に提供します。
- ・ こうした役割分担と中央図書館等のバックアップにより、まちなか図書館と中央図書館は一体的に機能し、長岡市全体として充実した図書館サービスを行うことが可能となります。
- ・ また、まちなか図書館は中央図書館や地域密着型の他地域図書館と異なり、時代や市民ニーズにあった「図書館らしくない図書館」という新しいスタイルの図書館であり、当複合施設のさまざまな機能を本でつなぐ軸となる役割を担います。

3 スマート図書館化計画の推進

- ・ 電子書籍(新聞・雑誌)の導入や、館内のどこでも閲覧できる専用タブレットを備えるなどデジタル化の取り組みを積極的に行います。膨大な情報量を過去に遡り、網羅的に検索できるデータベースにアクセスできる環境整備もその一つです。
- ・ また ICT は変化のスピードが速いため、その時の時代に即した機器の調達、整備を行います。

■ 情報交流を支援する ICT 機器

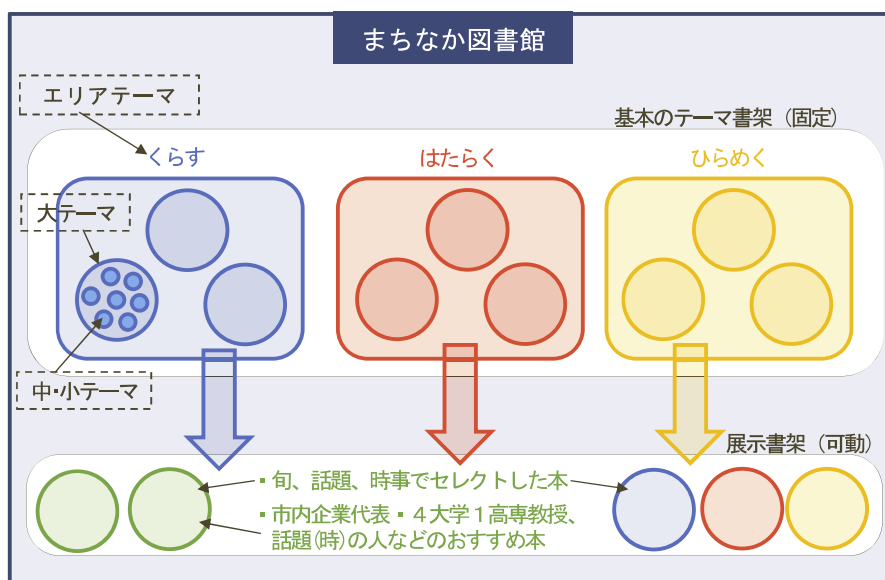
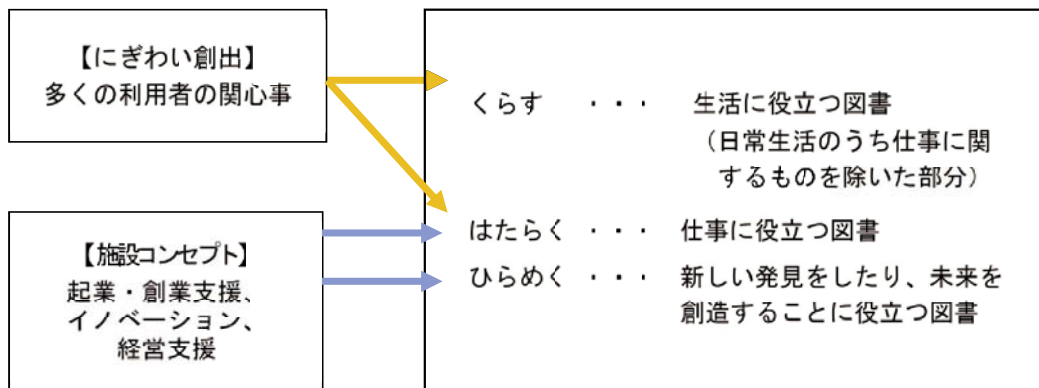
- ・ デジタルサイネージを設置し、施設内や市内のイベント情報、交通や観光情報などの発信、デジタル資料などの閲覧環境を整備します。
- ・ インターネット検索や電子資料の閲覧などに活用できる館内貸出し用タブレット端末を導入します。
- ・ インターネット、視聴覚資料や電子資料の閲覧などに使う機器を設置します。

■ 現段階で想定している ICT

- ・ 外部データベース検索機器
- ・ 閲覧・検索性用タブレット機器
- ・ Wi-Fi
- ・ ローカル5G
- ・ ICタグ(自動貸出、紛失防止、利用実態把握等)
- ・ 電子書籍
- ・ デジタルサイネージ(電子掲示板)
- ・ 図書館システム(市内図書館共通システム【本の検索・予約】)

第3章 資料整備計画

■ 図書テーマと図書配架のイメージ



1 資料収集方針

- ・ 起業・創業支援、経営支援(産業振興)の支援と、市民の日常生活に密接した「しごと」や「くらし」に関する資料を重点的に収集します。さらに、日々の運営においては、利用者ニーズを把握し、資料収集に反映します。
- ・ 人づくり・学び・交流エリアに導入する他の機能と関連した資料を積極的に収集し、各機能の知的サポートを担います。
- ・ まちなか図書館に配置する図書は、誰もが気軽に手に取りやすく、読みたいと思うものを集中して収集し、利用者が来館する動機づけにつなげます。
(「図書」を施設に人をリピートして呼べるツールとする。)

- ・ 市立図書館における現状の利用動態や各種統計データ(市場調査等を含む)を積極的に分析し、世の中で人気のある図書(読まれている本)を収集します。
 - 世代ごとに読まれている図書を徹底的に調査し、収集カテゴリを決定
 - 市内経営者、先生・教授、話題の人などからの選書
- ・ 子育ての駅ちびっこ広場・まちなか絵本館との機能分担から、まちなか図書館では絵本や児童書は必要最小限の配置とします。
- ・ 常に新しい情報を提供するため、資料の新陳代謝を戦略的に実施します。

2 資料提供

- ・ まちなか図書館の蔵書資料は原則貸し出しサービスを実施しますが、図書館基本方針として定めた「いつ来ても楽しむことができる空間づくり」を実現するため、購入(図書館への登録)から一年間を経過しない図書は貸出しを行いません。
- ・ 中央図書館や他の地域図書館の本を貸し出す「取り寄せ」、県立図書館などの本を貸し出す相互貸借は従来通り実施します。

3 配架

- ・ エリアテーマ「くらす」、「はたらく」、「ひらめく」を設けます。エリアテーマごとに大テーマ、中テーマ、小テーマを設け、利用者から楽しみながら本を探してもらったり、本との偶発的な出会いを創出します。
- ・ まちなか図書館の全体蔵書数は4万冊とし、3階フロアに3.5万冊、5階フロアに5千冊を配備します。まちなかの価値の高い限られた床を有効的に活用するため閉架書庫は設けず全ての資料を開架します。
- ・ 従来の固定式書架だけではなく、移動可能な書架を配置することにより、イベントなどの開催時にも柔軟に対応した施設運用を行います。また、施設内のどこでも本を楽しめる空間づくりを行います。
- ・ 配架は、当図書館のコンセプトを実現するため、多くの図書館で行われている日本十進分類法(NDC)による配架ではなく、書店などで見られるテーマごとに本を配置する方法で、利用者の関心事や興味から誘導したり、時事に関することや季節ごとの本などその時の旬な話題を集めたりするテーマ別配架を取り入れます。

※ 図書は、3階及び5階に配架します。3階には日常生活における身近な課題解決に役立つ本、5階は産業振興のフロアであることから、産業に特化したもの及びより専門性の高いものをラインナップします。

※ 子ども向け、大人向けの本について、エリアを分け、別々に配架するのではなく、同じテーマに関する図書は同一の棚で配架する「混配」をします。

4 図書テーマ

ア 「はたらく」に関する資料

i 起業情報

- ・起業・創業は、いろいろな立場の人がそれぞれプランを描きます。まちなか図書館はその実現に向けて資料・情報の提供を行い支援します。
- ・まず、事業の立ち上げに関する入門書や参考となる体験記などを揃えます。そして、これらを「市場調査」「事業計画」「事業開始に伴う各種届出」などのステップに配架するなど、初心者にも分かりやすい情報提供を行います。
- ・さらに、経営者等の人物史、特許、経営論、財務知識、開業の基礎なども含め幅広い分野の資料・情報も提供します。

ii 企業・業界情報

- ・就職を考えている学生、転職の準備をしたいビジネスパーソン、これから働きたい主婦、退職後の働き方を検討している人など、それぞれに必要な情報があります。そのため、まちなか図書館では、利用者の求めに応じ、企業情報や経済動向や最新時事などについて、データベースから得られる情報を含め、実践的な資料・情報を提供します。

iii 資格取得・スキルアップ情報

- ・資格取得やスキルアップのための参考書や問題集、各種資格試験情報、講座案内などはとても需要が高いです。まちなか図書館では、参考書や問題集を電子書籍で提供することを検討します。また、ビジネスマナー、職場でのコミュニケーション・スキル、ビジネス文書作成技術、情報整理技術、インターネットを活用した情報検索等に関する資料も充実します。

iv ビジネス一般情報

- ・ 上記、i～iiiまでの主要な情報のほか、白書類、会社録、統計、財政、年報、法律、技術情報、各種調査報告についても、ビジネス全般に関わる情報であることから継続的に収集します。

イ「くらす」に関する資料

日々のくらしの中で市民が抱えている課題や問題の解決に役立つ情報を提供します

i 医療・健康情報、福祉・介護情報

- ・ 自分自身や家族の病気、親の介護といった課題を抱えるビジネスパーソンに役立つ情報として、検査結果の見方、予防医学、生活習慣病、メタボリック症候群、メンタルヘルスに関する医療・健康情報、福祉・介護に関する基本情報や行政資料を提供します。また、広く市民に役立つ情報として、健康寿命の維持に役立つ情報や疾病・薬・医療施設・医師・介護等に関する情報、現在受けられる公的支援についての情報の提供も充実させます。

ii 子育て・教育情報

- ・ 仕事と子育ての両立や子育て後の復職、また、いじめや不登校などの教育問題など、働く人と働く人を支える家族の課題解決に役立つ資料・情報を提供します

iii 法律情報

- ・ 市民が課題解決を図る過程においては、法律問題の解決が必要となるケースもあります。そのため、法律解説や判例に関する資料も多く揃えます。
- ・ 雇用問題やパワーハラスメントなど、働く人が抱える特有の問題解決に役立ち、身分・立場を守るために必要な法律情報を多数提供するとともに、労務管理、労働安全衛生など雇用側が必要とする情報も提供します。また、広く市民へ向けた情報として、債務、相続・遺言、離婚などに関する法律情報も提供します。

ウ「ひらめく」に関する資料

日々のくらしの中ではあまり気がつかない「新たな気づき」を生み出すような情報を提供します。人が成長するためには、考えることをやめず、学び続けることが重要であることから、その学びをサポートするテーマを揃えます。

5 収集資料別概要

(1) 図書

蔵書規模を4万冊とし、仕事や暮らしに役立つ情報の提供に必要な図書を中心に収集します。

(2) 新聞

新聞は主要全国紙をはじめ、地方紙、業界紙、外国語紙など幅広い分野(約 30 紙)を収集します。また、新聞についてはデータベースによる提供も行います。

(3) 雑誌

雑誌は最新の情報を得るために有効な媒体であり、誰もが気軽に利用しやすいことから、施設利用のきっかけにつながると考えています。まちなか図書館では豊富なジャンルの雑誌(約 300 タイトル)を揃えます。

(4) 電子書籍及びデジタルコンテンツ

電子書籍で収集を検討しているコンテンツ

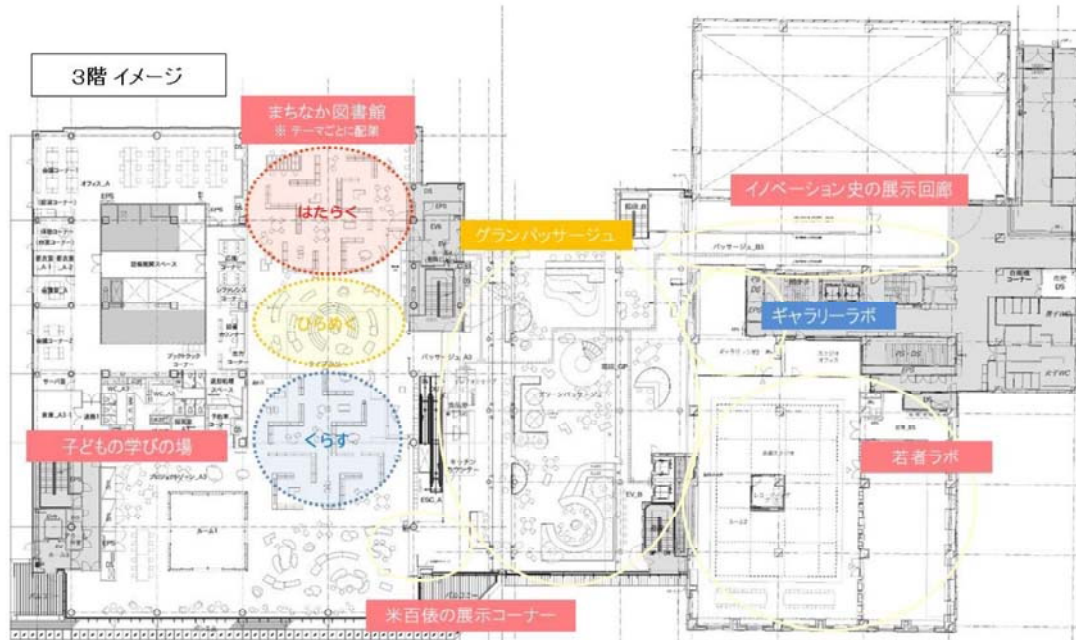
- ・ 起業・経営等に役立つビジネス関連
- ・ 資格取得・スキルアップのための参考書・問題集など
- ・ 医療・健康・介護・子育てなどに役立つ生活関連
- ・ 職場での研修に使えるビジネスマナー・マネジメントなどの教材コンテンツ
- ・ まちなか図書館で開催されたセミナー等の録画コンテンツ

(5) データベース

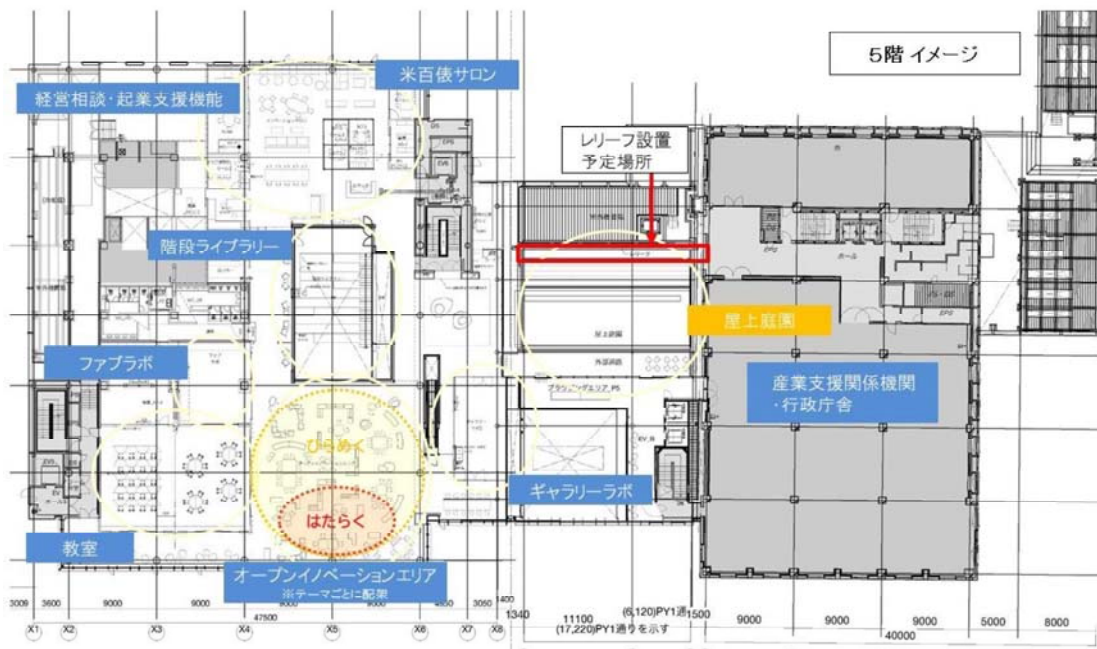
膨大な情報量を過去にさかのぼり網羅的に検索できるデータベースは、忙しいビジネスパーソンに必要不可欠なものです。個人で契約するには高額なデータベースを公共図書館が契約し、利用者に提供することは、中小企業や、フリーランスの方々の強力なサポートにもなります。国内でビジネス支援に力を入れる図書館の多くが、10 種を超えたデータベースを提供している状況の中、今後ニーズも増えることが予測されるため、蔵書冊数も限られているまちなか図書館では、より効果的に情報を提供できるよう、データベースを数多く揃えます。

■ エリア別図書の特徴

3 階



5 階



くらすエリア：「くらしをゆたかに」

- ・ 医療・健康情報から法律まで、日々の暮らしの課題に役立つ図書をそろえます。
- ・ 日常をゆたかにいろいろ、潤いのある生活へのヒントが込められた情報を届けます。

ひらめくエリア：「あらたな気づき」

- 3F** 人生をよりゆたかに、新たな知の世界をひらく図書をそろえます。
考えることをやめず、学び続け、問いを立てることのできる場をつくります。
- 5F** 言葉やデザインから新たな発想が生まれる図書をそろえます。
おもいがけないアイデアが感じられる本との出会いの場をつくります

はたらくエリア：「長岡で働くあなたを応援します」

3F 「これから働きたいあなたに」

- ・ 長岡で働きたいあなたのためのコーナーを設置します。
- ・ 「働きたい人を応援する」資格ガイド本や資格取得本のほか履歴書の書き方など、これから就職する人、転職、復職する人の道しるべになる図書をそろえます。
- ・ ビジネスに関する新書を中心とした入門書、ビジネス情報の入口となるコーナーです。

5F 「ステップアップを目指すあなたに」

- ・ 調査相談・情報提供に特化した「課題解決型」を行うエリア
- ・ 企業・経営や会社実務に関するビジネス書のコーナー
- ・ 仕事に役立つ情報やアイデアが欲しい時に情報を提供します。
- ・ 経営・財務・人事・労務・営業・広告・マーケティング社史、CSR(企業の社会的責任報告書)などをそろえます。
- ・ 事典・年鑑・統計類、法令各種法令を中心にした「ビジネスリサーチコーナー」を設置
ex『業種別審査事典』『帝国データバンク会社年鑑』『東商信用録』などや、利用の多い
企業年鑑、地価公示、白書。
- ・ ビジネスに役立つ資格試験のテキストも充実。
- ・ 職業ごとの実務経験者に役立つ図書などをそろえます。

ティーンズ向け

- ・ マンガ：成長につながるストーリーマンガを取り入れます。
- ・ 学校での部活に役立つ図書をそろえます。

第4章 他機能との連携で提供するサービス

米百俵プレイスは子どもや若者の学び、産業ビジネス振興といった機能も有する複合施設であるため、各機能が展開するプログラムにおいては各機能が最大の効果を得られるよう、まちなか図書館はこれらの機能と相互に連携し、土台となる知的サポートを行います。

1 起業支援・経営支援

～4大学1高専のイノベーション拠点・産業ビジネス支援の拠点との連携～

- ・ 企業の経営相談や技術相談、起業・創業相談などの機能を備えるほか、4大学1高専が持つ知見や人材、モノづくり企業の集積を生かした長岡版イノベーションを実現していくための支援を行います。
→ 「ファブラボ」、「ギャラリーラボ」でのプログラムとの連携
- ・ 産業振興や人材育成につながり、各分野にイノベーションを誘発する資料を提供します。
- ・ 利用者の課題に対し、より直接的な回答ができるよう、各種専門機関の相談員等が、起業・経営などについての相談に応じます。まちなか図書館は、相談の際に必要な資料・情報を提供し、効率的な課題解決を支援します。
- ・ 利用者が様々な情報を効率よく入手することを支援する「情報リテラシー講座」、図書館で利用できる新聞・雑誌記事、法令・判例、会社情報、学術論文、人物情報、商圈情報などの各種データベースにより、ビジネスパーソンを支援します。
- ・ 専門機関が実施する、仕事とくらしに役立つセミナー等について、図書によるサポートを行います。（起業、経営、スキルアップなど、ビジネスパーソンを支援するセミナー）
- ・ 産業に関するレファレンス、相談対応は5階の窓口で実施します。
- ・ 施設内には商業データベースを備え、産業振興を図書やデータで積極的に支援します。

2 子どもの新しい学び ～子どもラボとの連携～

- ・ 子どもラボは学校の授業のその先の学び、長岡だからこそできる学びのコンテンツを展開します。
- ・ 子どもが様々な事柄に触れ、興味を持ち、それについて考え、友達との共有や対話によって自ら課題を解決する力を育む場とするための資料充実を図ります。

- ・小学生や中学生が自ら調べる学習に対応できる資料の収集を図り、楽しみながら学べる空間づくりのための連携を行います。

3 若者の居場所、若者のチャレンジを支援 ～若者ラボとの連携～

- ・若者ラボは若者が個性をのびし、これまでに出会ったことのないさまざまなヤコト、モノに触れる経験から、新たな創造を生み出していく場です。
- ・まちなか図書館は、さまざまな分野の情報が身近に触れられる空間づくりのための連携を行います。
 - 「表現スタジオ」、「ティーンズスタジオ」でのプログラムとの連携
- ・音楽、スポーツ、漫画、進路など、この世代に関心の高いジャンルの資料・情報を収集し提供します。
- ・学習のためのコーナー(サイレントルーム)を設け、自習の支援を行います。
- ・自分の興味のある事を深堀し、その特技をいかしてチャレンジしたいことをバックアップします。

4 歴史人物史展示

- ・米百俵プレイス(仮称)建設地で生まれた「米百俵の精神」や小林虎三郎の思想と、さまざまな分野でイノベーションを生み出してきたオール長岡の先人たちの功績や考え方を展示します。
- ・企画展示等の内容に合わせて、それぞれの分野や人物についてより深く学ぶことのできる資料・情報を収集し提供します。

5 その他

- ・施設内に導入する機能が有効的に作用するためには、施設内の機能の連携はもちろん、施設外の機能や団体とも積極的に連携をはかる必要があります。まちなかの商店街をはじめ、アオーレ長岡などのまちなか公共施設、市域全体、世界にまで視点を広げ、あらゆる連携の可能性を積極的に模索していきます。

第5章 管理・運営

1 開館日・開館時間

- ・ まちなか図書館は人づくり・学び・交流エリアの複合施設内にあることから、複合施設内のその他の機能と合わせて検討します。
- ・ 施設利用者の利便性向上のためには、できるだけ閉館日を減らし、開館時間を長くすることが必要です。ただし、まちなかの既存施設の状況や市で現在検討を進めている「持続可能な行財政プラン」等も考慮しながら、まちなか図書館の適正な開館日・開館時間の設定を行います。
- ・ 実施設計では12月29日から翌年1月3日までを休館日、午前8時から午後10時までを閉館時間として想定しています。

※ 平成29年度における互尊文庫開館日数は295日(約5.8日/月休館)

※ 現行の互尊文庫は午前9時30分から午後8時までです。

★ 開館日及び開館時間の設定における留意点

- ・ 新施設は複数の機能を有するため、機能ごとの利用層・利用形態を踏まえた開館日や開館時間を設定する必要があります。
- ・ 機能ごとに開館日や開館時間が異なることも想定されます。
- ・ 今後市民ニーズなども取り入れながら、検討を進めていきます。

2 運営体制

- ・ 米百俵プレイス(仮称)は複数の機能を有する施設のため、機能ごとに求められる専門性を維持しつつ、効率的な運営体制を構築する必要があります。
- ・ まちなか図書館機能については、これまでの互尊文庫が指定管理委託を行っていたことから、この管理方法をベースとして民間へ業務委託します。
- ・ 各機能との一体的な利用者対応、事業連携、広報、維持管理等の必要性から、施設を総合的に管理する者を中心としたトップマネジメントにより施設運営全体を総括し、各業務部門が専門性を発揮できる体制を検討していきます。

- ・ 施設運営のマネジメント組織は市直営とし、まちなか図書館は民間へ業務委託します。
- ・ 今後、管理運営計画を策定するにあたっては、事業コストを精査しながら効率的で無駄のない計画となるよう努め、人件費を含む維持管理費の削減に努めます。

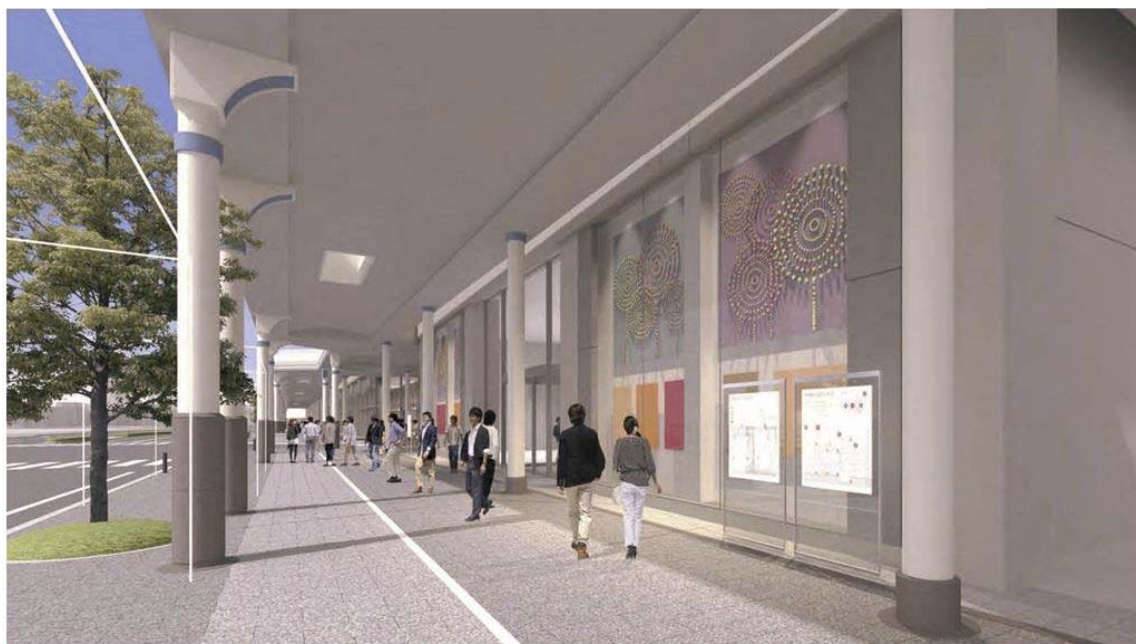
p. 22~47

家具図

イメージパース



● 大手通交差点反対側より見る



● 大手通アーケード下 長岡駅方面からB街区を見る



● 大手通交差点から見る



● 大手通アーケード下 手前B街区エントランス・奥A2街区エントランスを見る



● 3階 A-2 街区(米百俵棟西館) まちなか図書館(大手通側)

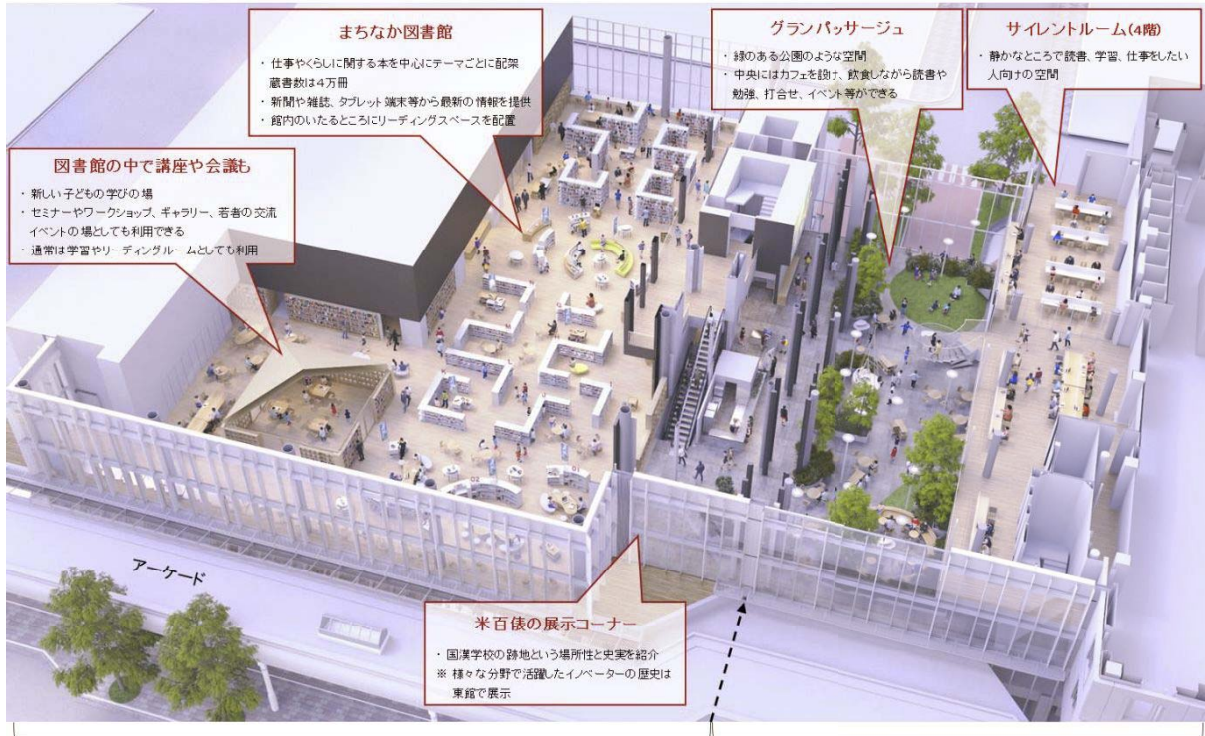


● 3階 A-2 街区(米百俵棟西館) まちなか図書館(カウンター前)

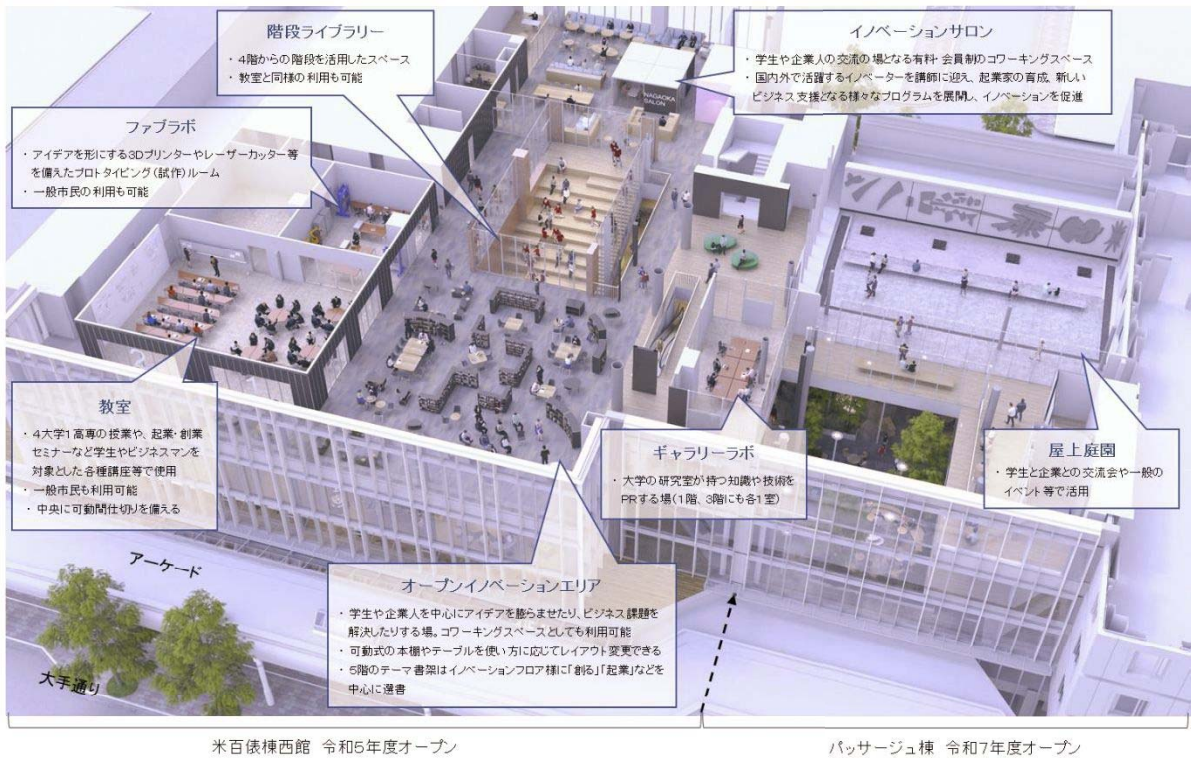


● 5階 A-2街区(米百俵棟西館) 交流サロン

人づくり・学び・交流エリア 3階イメージ 集い・憩い・学び・知る・にぎわいのメインフロア



人づくり・学び・交流エリア 5階イメージ 起業・創業、産業支援のフロア



まちなか図書館新聞購入(案)

No.	新聞名	出版社	刊行頻度	備考
1	A s a h i W E E K L Y	朝日新聞社	週刊	
2	朝日小学生新聞	朝日新聞社	日刊	
3	朝日中高生新聞	朝日新聞社	週刊	
4	朝日新聞	朝日新聞社	日刊	
5	朝日新聞 縮刷版	朝日新聞社	日刊	
6	産経新聞	産経新聞社	日刊	
7	The Japan Times/ Internatinal New York Times	ジャパン タイムズ	日刊	
8	週刊読書人	読書人	週刊	
9	スポーツ報知	報知新聞社	日刊	
10	The Japan News	読売新聞社	日刊	
11	栃尾タイムス	栃尾タイムス	月3回	
12	長岡新聞	長岡新聞社	週3回	
13	新潟日報（朝刊）	新潟日報社	日刊	
14	新潟日報（夕刊）	新潟日報社	日刊	
15	日刊工業新聞	日刊工業新聞社	日刊	
16	日刊スポーツ	日刊スポーツ新聞社	日刊	
17	日経ヴェリタス	日本経済新聞社	週刊 （日曜日）	
18	日経MJ（日経流通新聞）	日本経済新聞社	週3回刊 （月、水、金曜日）	
19	日本経済新聞	日本経済新聞社	日刊	
20	日本農業新聞	日本農業新聞社	日刊	
21	福島民報	福島民報	日刊	寄贈
22	福島民友	福島民友	日刊	寄贈
23	毎日小学生新聞	毎日新聞社	日刊	

まちなか図書館新聞購入(案)

No.	新聞名	出版社	刊行頻度	備考
24	毎日新聞	毎日新聞社	日刊	
25	MAINICHIWEEKLY (英語)	毎日新聞社	週刊	
26	読売新聞	読売新聞社	日刊	
27	読売中高生新聞	読売新聞社	週刊	
28	金融経済新聞	金融経済新聞社	週刊	
29	日経産業新聞	日本経済新聞社	日刊 (月-金)	新潟県に配達がないため、取り寄せ
30	東京新聞	中日新聞東京本社	日刊	新潟県に配達がないため、取り寄せ
31	中日新聞	中日新聞社	日刊	
32	フジサンケイビジネスアイ	産経新聞社	日刊	
33	北國新聞	北國新聞北国会	日刊	
34	電波新聞	電波新聞社	日刊	電波時評、機構改革、人事、業界知識、流通リーダーの提言、新商品紹介
35	電気新聞	日本電気協会新聞部	日刊	
36	日刊建設工業新聞	日刊建設工業新聞社	日刊	人事、全国落札者ファイル、新社長の横顔、地域の動向
37	観光経済新聞	観光経済新聞社	週刊 (土曜日)	主要旅行業月別実績、儲けるための旅館経営、調査データ、体験型観光の現場、地域観光
38	環境新聞	環境新聞社	週刊	ニュースフラッシュ、環境省の人事異動、環境に関する図書の紹介
39	科学新聞	科学新聞社	週刊	提言、書籍紹介、産業・応用・製品、知的財産、協会の活動内容
40	交通新聞	交通新聞社	日刊	ショッピングセンター販売統計調査、訪日外国人客、出国日本人数、主要旅行業者の旅行取引状況
41	新文化	新文化通信社	週刊	機構改革、人事異動、書店販売動向、週間ジャンル別ベストセラー、主要ニュース
42	文化通信	文化通信社	週刊	書評、機構改革・人事異動、全国地域別書店ランキングベスト10
43	建設通信新聞	日刊建設通信新聞社	日刊	新社長にきく、建設論評、人事、地区別情報、入札公告
44	日本証券新聞	日本証券新聞	日刊	株式市況、企業ニュース、投資信託、外国為替、商品先物
45	日本食糧新聞	日本食糧新聞社	週3回刊 (月、水、金曜日)	メーカー動向、機構改革・人事異動、POSデータにみるシェア、エリアの最前線

まちなか図書館 雑誌購入案

	雑誌名	出版者	刊行頻度
1	愛犬の友	誠文堂新光社	隔月刊
2	アイデア	誠文堂新光社	季刊
3	I'm home	商店建築社	隔月刊
4	AERA	朝日新聞出版	週刊
5	AXIS	アクシス	隔月刊
6	ACT4	インプレザリオ	隔月刊
7	アニメージュ	徳間書店	月刊
8	an・an	マガジンハウス	週刊
9	安心	マキノ出版	月刊
10	&Premium	マガジンハウス	月刊
11	いいね	クレヨンハウス	隔月刊
12	家の光		月刊
13	囲碁講座		月刊
14	一枚の繪	一枚の繪	隔月刊
15	一個人	ベストセラーズ	月刊
16	田舎暮らしの本	宝島社	月刊
17	illustration	玄光社	季刊
18	ENGLISH JOURNAL	アルク	月刊
19	飲食店経営	アール・アイ・シー	月刊
20	Interface	CQ出版	月刊
21	InRed	宝島社	月刊
22	印刷雑誌	印刷学会出版部	月刊
23	with	講談社	月刊
24	WILL	ワック	月刊
25	Wedge	ウェッジ	月刊
26	WEB+DB PRESS	技術評論社	隔月刊
27	WD(Web Designing)	マイナビ出版	隔月刊
28	UOMO	集英社	月刊
29	ウォロ	大阪ボランティア協会	隔月刊
30	うかたま	農山漁村文化協会	季刊
31	美しいキモノ	ハースト婦人画報社	季刊
32	栄養と料理	女子栄養大学出版部	月刊
33	エコノミスト		週刊
34	エステティック通信	美容経済新聞社	月刊
35	ESSE	フジテレビジョン	月刊
36	NHKガッテン!	主婦と生活社	隔月刊
37	NHKきょうの健康	NHK出版	月刊
38	NHKきょうの料理	NHK出版	月刊
39	NHKきょうの料理ビギナーズ	NHK出版	月刊
40	NHK趣味の園芸	NHK出版	月刊
41	NHK趣味の園芸やさいの時間	NHK出版	隔月刊
42	NHKすてきにハンドメイド	NHK出版	月刊
43	NHKみんなのうた	NHK出版	隔月刊
44	NHKみんなの手話	NHK出版	年二回刊
45	MJ	誠文堂新光社	月刊
46	ELLE gourmet	ハースト婦人画報社	隔月刊

	雑誌名	出版者	刊行頻度
47	ELLE DECOR	ハースト婦人画報社	その他
48	園芸ガイド	主婦の友社	季刊
49	演劇界	演劇出版社	月刊
50	えんぶ	えんぶ	隔月刊
51	OCEANS	ライトハウスメディア	月刊
52	OZ magazine	スターツ出版	月刊
53	おとなの週末	講談社ビーシー	月刊
54	オートバイ	モーターマガジン社	月刊
55	おはよう21	中央法規出版	月刊
56	OHM	オーム社	月刊
57	alterna	オルタナ	季刊
58	オレンジページ	オレンジページ	月二回刊
59	音楽と人	音楽と人	月刊
60	CAR and DRIVER	カー・アンド・ドライバー	月刊
61	科学	岩波書店	月刊
62	化学	化学同人	月刊
63	Casa BRUTUS	マガジンハウス	月刊
64	かぞくのじかん	婦人之友社	季刊
65	CUT	ロッキング・オン	月刊
66	ガーデン&ガーデン	エフジー武蔵	季刊
67	ガバナンス	ぎょうせい	月刊
68	カフェレス	旭屋出版	季刊
69	からだにいいこと	祥伝社	月刊
70	CARREL(キャレル)		月刊
71	環境ビジネス	事業構想大学院大学出版部	季刊
72	企業実務	日本実業出版社	月刊
73	聴く中国語	HSJ	月刊
74	近代建築	近代建築社	月刊
75	ku:nel	マガジンハウス	隔月刊
76	Goods Press	徳間書店	月刊
77	暮しの手帖	暮しの手帖社	隔月刊
78	CREA	文藝春秋	その他
79	クローバー	ジェイ・ブロード	季刊
80	クロワッサン	マガジンハウス	月二回刊
81	月刊ケアマネジメント		月刊
82	経済界	経済界	月刊
83	芸術新潮	新潮社	月刊
84	螢雪時代	旺文社	月刊
85	月刊ギャラリー	ギャラリーステーション	月刊
86	月刊金融ジャーナル	金融ジャーナル社	月刊
87	月刊コンビニ	アール・アイ・シー	月刊
88	月刊広報会議	宣伝会議	月刊
89	月刊事業構想	事業構想大学院大学出版部	月刊
90	月刊にいがた		月刊
91	月刊Newsがわかる	毎日新聞出版	月刊
92	月刊バスケットボール	日本文化出版	月刊

	雑誌名	出版者	刊行頻度
93	月刊ピアノ	ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス	月刊
94	月刊美術	サン・アート	月刊
95	月刊ホテル旅館	柴田書店	月刊
96	月刊マーチャンダイジング	ニューフォーマット研究所	月刊
97	GOETHE	幻冬舎	月刊
98	健康365	エイチアンドアイ	月刊
99	現代農業	農山漁村文化協会	月刊
100	建築技術	建築技術	月刊
101	建築知識	エクスナレッジ	月刊
102	剣道時代	体育とスポーツ出版社	月刊
103	航空ファン	文林堂	月刊
104	こころの科学	日本評論社	隔月刊
105	子供の科学	誠文堂新光社	月刊
106	ことりっぷMagazine	昭文社	季刊
107	この本読んで!	出版文化産業振興財団	季刊
108	coyote	スイッチ・パブリッシング	季刊
109	コンフォルト	建築資料研究社出版部	隔月刊
110	財界	財界研究所	隔週刊
111	Cycle Sports	八重洲出版	月刊
112	サッカーマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊
113	サーナ	イフ総合研究所	不定期
114	THE 21	PHP研究所	月刊
115	サライ	小学館	月刊
116	サンキュ!	ベネッセコーポレーション	月刊
117	サンデー毎日	毎日新聞出版	週刊
118	3分クッキング		月刊
119	CNN ENGLISH EXPRESS	朝日出版社	月刊
120	GQ JAPAN	コンデナスト・ジャパン	月刊
121	CD Journal	シーディージャーナル	季刊
122	シナリオ	日本シナリオ作家協会	月刊
123	島へ。	海風舎	隔月刊
124	JaZZ JAPAN	ジャズジャパン	月刊
125	週刊朝日	朝日新聞出版	週刊
126	週刊エコノミスト	毎日新聞出版	週刊
127	週刊金曜日	金曜日	週刊
128	週刊新潮	新潮社	週刊
129	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	週刊
130	週刊東洋経済	東洋経済新報社	週刊
131	週刊文春	文藝春秋	週刊
132	週刊ベースボール	ベースボール・マガジン社	週刊
133	自遊人	自遊人	季刊
134	住宅建築	建築資料研究社	隔月刊
135	酒販ニュース	醸造産業新聞	月3回刊
136	醸界春秋	醸界通信社	隔月刊
137	JUNON	主婦と生活社	月刊
138	将棋世界	日本将棋連盟	月刊

まちなか図書館 雑誌購入案

	雑誌名	出版者	刊行頻度
139	商業界	商業界	月刊
140	人材ビジネス	オーピーエヌ	月刊
141	新建築	新建築社	月刊
142	SWITCH	スイッチ・パブリッシング	月刊
143	数学セミナー	日本評論社	月刊
144	SKI GRAPHIC	芸文社	月刊
145	SCREEN	近代映画社	月刊
146	Standard新潟		月刊
147	steady	宝島社	月刊
148	stereo	音楽之友社	月刊
149	STORY	光文社	月刊
150	すばる	集英社	月刊
151	SPRING	宝島社	月刊
152	住まいの設計	扶桑社	隔月刊
153	スマッシュ	日本スポーツ企画出版社	月刊
154	smart	宝島社	月刊
155	住む。	泰文館	季刊
156	相撲	ベースボール・マガジン社	月刊
157	声優グランプリ	主婦の友社	月刊
158	世界の艦船	海人社	月刊
159	選択	選択出版	月刊
160	宣伝会議	宣伝会議	月刊
161	専門料理	柴田書店	月刊
162	装苑	文化学園文化出版局	隔月刊
163	総務省	総務省	月刊
164	体育施設	体育施設出版	月刊
165	TIME(英語)	Time Inc	週刊
166	DIME	[小学館]	月刊
167	ダイヤモンドZai	ダイヤモンド社	月刊

まちなか図書館導入データベース案

No.	サービス提供者	名称	ジャンル	内容	IP 認証型	ID・PASS 認証型	端末 特定型	その他の 認証
1	TRC	ジャパンナレッジLib	辞書・事典	ジャパンナレッジは、60種以上の辞事典、雑誌記事、叢書などを、一括検索で簡単に調べることができます。『日本大百科全書(ニッポニカ)』、『日本国語大辞典』、『字通』、『現代用語の基礎知識』、『imidas』などの辞事典から、図書館におけるレファレンスで必要とされる正確で信頼性の高いコンテンツがそろっています。さらに『世界大百科事典』、『日本歴史地名大系』、『国史大辞典』、『角川古語大辞典』、『新版 角川日本地名大辞典』、『新編国歌大観』を追加できるプランもご用意しております。	○	○		
2	TRC	magazineplus	雑誌論文 レファレンス	一般誌から専門誌、大学紀要、海外誌紙まで収録した国内最大規模の雑誌・論文データベースです。2016年6月に、明治・大正・昭和戦前期の雑誌記事データ240万件を追加登録しました。	○	○		
3	TRC	聞蔵II ビジュアル朝日新聞記事データベース	新聞記事	明治12年の朝日新聞創刊号から今日までの140年を超える紙面から記事・広告約1500万件を検索できる国内最大級の記事データベースです。沖縄を除く46都道府県の地域面も収録しており、「週刊朝日」「AERA」、人物データ、歴史写真、アサヒグラフ、英文ニュースの検索もできます。縮刷版「全国の地域面」は、沖縄を追加し38都府県になりました。 (公共図書館では、1契約で本館・分館と、複数の図書館で使える「サテライト利用」も可能です。)	○		○	○IP+ID・PASS 認証
4	TRC	日経テレコン	新聞記事	日本経済新聞社の国内外に広がるネットワークと膨大なデータベースから、付加価値の高い情報を必要とときに瞬時に提供する日経テレコン。1984年にサービスを始めて以来、一般の事業会社はもとより、政府諸官庁、大学、図書館などのあらゆる領域で、高い信頼を獲得し続けています。新聞の記事は、テキストだけでなくPDF形式の紙面イメージで見られることもできます。どのようなレイアウトで掲載されていたのか、付随する写真・イラスト・表などもビジュアルで確認することができます。印刷・保存用資料としてもご利用いただけます。		○		
5	TRC	毎索(マイサク)	新聞記事	「毎索(マイサク)」は、毎日新聞社の保有する豊富なデータベースを統合した検索サービスです。「毎日新聞」は現存する最古の日刊紙。1872年(明治5年)の創刊号から900万件以上がキーワードで検索できます。また、毎日新聞社が戦後実施してきた世論調査結果を検索できる「毎日ヨロンサーチ」、ジャンル・年代ごとに20世紀の重大事件を年表形式で閲覧できる「20世紀2001大事件」、経済誌「週刊エコノミスト」のデータベースを収録。調べ学習やアクティブラーニングのサポート、情報リテラシー向上や就職活動での企業研究にも役立つ充実した内容となっています。	○		○	
6	TRC	ヨミダス歴史館	新聞記事	明治7(1874)年の創刊号から前日付まで、145年の記事1,400万件以上が検索・閲覧できる日本初の本格的オンラインデータベースです。近・現代史の研究や世相の移り変わり、日本語の変遷などを探るのに大変便利です。 ヨミダス歴史館は①明治7年から平成元年に至るまでの読売新聞紙面画像②1986年9月からの読売新聞記事テキスト③1989年9月からの英字新聞の記事テキスト④現代人名録の4つのコンテンツで構成されています。	○		○	
7	TRC	ヨミダス歴史館(平成以降)	新聞記事	また、2008年12月以降の読売新聞記事は、切り抜き紙面で見られることも可能です。2010年世界新聞・ニュース発行者協会による第1回アジア・デジタル・メディア賞特別賞受賞。2010年度日本新聞協会技術委員会賞受賞。	○		○	

まちなか図書館導入データベース案

No.	サービス提供者	名称	ジャンル	内容	IP 認証型	ID・PASS 認証型	端末 特定型	その他の 認証
8	TRC	日経BP記事 検索サービス	雑誌記事	「日経ビジネス」、「日経 TRENDY」、「日経コンピュータ」など、日本のビジネス・生活・技術分野をカバーした専門雑誌データベースです。 経営・IT・エレクトロニクス・医療・ライフスタイルなど、さまざまな専門情報を収録。 貴図書館・自治体のビジネス・就職・生活支援にご活用いただけます。	○	○		
9	TRC	eol 企業情報 データベース	企業情報	“ビジネス情報の決定版”「eol 企業情報データベース」は、様々な角度から企業財務情報＋非財務情報を配信するASP型データベースです。 「企業情報の宝庫」と言われる有価証券報告書を完全収録。約7,000社の企業概要、有価証券報告書、財務データ、マーケット情報をワンストップで提供します。企業の財務分析、経営動向調査、同業他社との比較、さまざまな調査テーマに関する企業検索やリストアップが実現できます。 ビジネスパーソンや個人投資家、中小企業経営者の企業情報収集に有効です。更に、就職活動における企業分析、エントリーシート対策などの場面でもお役に立ていただけます。	○	○		
10	新潟日報	新潟日報	新聞記事	※収録されているのは2004年4月以降の朝刊、夕刊、別刷りの記事です。 ただし、本社に著作権のない寄稿記事、事件・事故で被害者名を含んだ記事などは日付および見出しのみの表示となります。				
11	官報	官報情報		官報情報検索サービスは、昭和22年5月3日(日本国憲法施行日)分から直近までの官報の内容を、日付やキーワードを指定して検索・閲覧できる				
12	国会	国会図書館 デジタル送信		「図書館向けデジタル化資料送信サービス(図書館送信)」は国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を登録した図書館の館内で閲覧・複写(プリントアウト)ができるサービスです。				
13	農山漁村 文化協会	ルーラル 電子図書館	農業系	農山漁村文化協会がサービスしている日本の農業・農村・食文化等に関する幅広い情報を集録しているデータベースです。 提供する論文・記事は、全文・フルテキストです。				
14	東洋経済 新報社	東洋経済 デジタル コンテンツ・ ライブラリー	ビジネス支援	・「週刊東洋経済」「会社四季報」「就職四季報」「CSR企業総覧」など、東洋経済新報社の主要コンテンツ26点を収録しています。これらを掲載された誌面のまま、PDFファイルやビューア機能で閲覧可能です(一部のコンテンツや記事はHTML、テキストでの提供となります)。 ・大学図書館では学生の就職活動支援や経済・ビジネス分野の学術研究・教育、公共図書館ではビジネス支援などに活用いただけます。				

4. 「図書館」機能

「図書館」機能は、地域の図書館である現在の互尊図書館の精神を引き継ぎつつ、本施設の理念である『未来への問いをつくる』を推進していくために、新たに特色あるサービスを展開する。

「感じること」「わくわくすること」「問うこと」「学ぶこと」「地域編集」「地域自治」「生業づくり」「イノベーション」「プロジェクトマネジメント」などをはじめとして、自分のやりたいことを見つけ、探求し、生きていくのに参考となる、本や雑誌、冊子、各種メディアコンテンツなどの資料提供に力を入れる。スタッフはさまざまな方法で利用者のニーズを捉え、資料の収集ばかりでなく、作成も行う。

また、これらの資料から自分にとって必要なものに気づき、見つけ出していくために、書架を素早く組み替えたり、検索の仕組みを充実させていく、これまでない柔軟なライブラリーを目指す。

【現在の互尊図書館の概要】

延床面積 約 1,600 平米

蔵書数 約 57,000 点

閲覧席 約 200 席 (1F 25 席、2F 73 席、3F 学習室 104 席)

新聞雑誌コーナー、文書資料室、「非核・平和」に関する特色資料年間

利用者数 約 3 万人

年間貸出点数 約 9 万点

4.1. 資料・情報の案内・相談

来館者が、資料や情報に到達できるようにするばかりでなく、新たな気づきや発見につながるように、さまざまな方法による案内、相談を行う。

4.1.1. 図書カウンター

図書カウンターは、本・資料に関する問い合わせを受け付ける。詳しい相談や各種登録・受付業務については、並びにあるレファレンス・デスクにて行う。ここで市立図書館からの取り寄せ本の受け渡し業務も行う。また、複写サービスやデータベース検索結果のプリントのための課金コピー・プリンタも備える。

機器	数量	備考
図書管理スタッフ用パソコン端末	2 式	RFID ライター、レシートプリンタと接続
スタッフ用パソコン端末	1 式	インターネット検索など
BDS ゲート異常検知用端末	1 式	
課金コピー・プリンタ	1 式	

4.1.2. レファレンス・デスク、レファレンス・ブース

レファレンス・デスク（＝レファレンス・コーナー）レファレンス・ブース（＝応接コーナー）では、レファレンスサービスを行う。

「レファレンスサービス」とは、利用者がある課題やテーマに関して学習・研究・調査を行なうために必要な資料や情報を、検索・提供・回答することによって支援するものである。頻繁に相談される内容については、前述の「インフォメーション・デスク」であらかじめ紹介を行う。

また、相談内容に高度な専門性、まとまった資料や最新の情報が必要であり、その場で十分対応できない場合には、予約式（テーマ指定、専門家協力）を採用したり、その情報源となりうる人や機関、組織を紹介することによって支援する「リフェラルサービス」を行う。

個別の机がある「レファレンス・デスク」1セット（スタッフ用1席と相談者用2席程度まで）と、プライバシーやセキュリティ保護の観点から閉鎖空間が必要な相談内容の場合の個別ブースである「レファレンス・ブース」2セット（1セットにはスタッフ用2席と相談者用2席まで）を用意する。

機器	数量	備考
図書管理スタッフ用パソコン端末	3 式	RFID ライター、レシートプリンタと接続
スタッフ用パソコン端末	3 式	インターネット検索など
スタッフ用プリンタ	1	図書カウンターと共用

4.1.3. サーチャバー

サーチャバーは、利用者が OPAC やインターネット端末、商用データベースによる検索、調べものを行なうスペースである。

調べ方、情報検索のコツについてのガイド展示もここで行う。

機器	数量	備考
OPAC 端末	2 式	利用者の蔵書検索用
利用者検索用パソコン端末	2 式	インターネット・商用データベースによる調べもの
館内専用タブレット	4 式	

4.2. 図書館運営の考え方

ここでは、一般書、児童書、雑誌、新聞、マンガ、独自作成資料に関する蔵書や配架、書架に関する考え方や、管理方法、選書の考え方などについて述べる。

4.2.1. 一般書の考え方

日本の多くの図書館では、日本十進分類法（以降、略称の NDC と呼ぶ）による書架配置が採用されている。NDC は「0」から「9」の数字を用いて、たとえば、「文学」は「9xx」、「日本文学」は「91x」（日本文学の）小説・物語」は「913」といったように小数点以下まで細かく分類されている。NDC は検索性に優れている一方で、日常的によく使うテーマがあちこちに散らばってしまったり、関係するテーマを近づけるといったことが難しく、ほかの本に気づきにくいといった欠点もある。

本施設では、内部管理には NDC を採用しつつ、書架の分類名や見出しは NDC 名や番号にはこだわらずに付けていくこととする。

一般書は、テーマ毎に書架に置いていく「テーマ別置」を多用していく。この別置は、本屋さんの並べ方に近い形なので、書架がより身近になるといった効果が期待できる。テーマの並べ方にも工夫し、新しいテーマや課題も発見できるようなサイン表示、見出しづくりを工夫する。

多くの利用者がさまざまなテーマや課題に気づくことで、地域やコミュニティでそれらが共有され、学び合いや活動にむすびついていく。テーマに関連した本以外の資料や情報も併せて配置していく。

本施設で想定する一般書のテーマを以下に例示する。

A. 暮らしに関すること

A-1	健康
A-2	福祉
A-3	子育て・児童文学
A-4	住まい
A-5	たしなみ
A-6	冠婚葬祭
A-7	家計

B. 地域外・科学技術に関すること

B-1	国内旅行
B-2	言語
B-3	海外旅行・多文化
B-4	科学
B-5	技術・工学
B-6	パソコン

C. 地域・編集に関すること

C-1	地域（長岡）
C-2	まちづくり
C-3	編集・出版

D. 人文科学に関すること

D-1	哲学
D-2	歴史
D-3	芸術・スポーツ
D-4	文学

E. 衣食・社会に関すること

E-1	料理
E-2	服・手芸
E-3	産業・商業・農業
E-4	社会・政治・経済

4.2.2. 児童書の考え方

前述の通り、児童書は子育て世代のひとたちが滞在できるように、絵本をはじめとする児童書を一定量揃える。特に、現在の互尊図書館でも小学生以上の児童書はニーズがあり、児童向けの実用書、知識書は文字も大きく、写真も多用されているため、シニアにも人気がある。このため、児童書と一般書はコーナーを分けるのではなく、書架では混配を基本とし、書架の中で区分けを行う。

児童書が多く置かれる書架の近くには、子ども用の椅子も配置されたファミリーテーブルを配置する。親や祖父母などと一緒に読めるような雰囲気づくりにも配慮する。ベビーカーも停められるパーキングスペースもつくる。

また、お話部屋として使えるスペースを設ける。この部屋はイベントで使用していない時には、静かにしていることが苦手な子どもたちも居られる場所にする。そのための児童用備品も備える。

4.2.3. 雑誌、新聞、マンガの考え方

雑誌は、300誌程度を所蔵していく。また新聞は、30紙程度を所蔵していく。

マンガは、本施設の趣旨に沿ったものであれば積極的に所蔵していく。

4.2.4. 独自作成資料の考え方

詳しく後述する「ひと・表現スタジオ」機能で制作された独自作成資料を所蔵管理していく。コンテンツ化された資料ばかりでなく、そこで使われた素材（文章や写真、画像など）についてもデータベースによって管理していく。具体的には、二次利用ルールを定めたクリエイティブ・コモンズ・ライセンス*を使って、知財権管理と同時に二次利用の促進も行う。

※クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（以下、CCライセンス）とは、作品を公開する作者が「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。」という意思表示をするためのツール。CCライセンスを利用することで、作者は著作権を保持したまま作品を自由に流通させることができ、受け手はライセンス条件の範囲内で再配布やリミックスなどを行うことができる。

4.2.5. 配架と書架の考え方

配架は、テーマやレベルの違い（入門から上級向け）旬のものや、相談されて紹介した実績があるもの、気付きのきっかけとなりそうな本といったものを分かりやすく見せるために、書架の見出しの付け方、資料の並べ方（年表や暦のような時間軸、マップを使った空間配置）メッセージカードの活用、見本の例示など工夫をしていく。

書架は、固定書架、編集書架、流動書架の3種類の書架を用意し、展示架や平台など各種タイプの違いのよって、即時性、直観性も重視する。

- (1) 固定書架
しばらくは変わらないテーマ毎に設けられる高書架。所蔵スペースを効率的に確保しつつ、その各棚にゆったりと隙間を空けていくことによって、隣の書架の本の存在にも気づくような工夫をしていく。
- (2) 編集書架
高書架からさまざまな視点、切り口によって選び出された資料をひとまとまりに見せるためのこじんまりとまとまった書架。
- (3) 流動書架
日替わりで出現したり、旬で現れるような即時的な資料展示を行うためのワゴンやスタンドのような小さな書架。
- (4) 雑誌架
300誌程度の雑誌を配置する。所蔵している雑誌が一覧でき、直近のバックナンバーも探しやすい書架とする。なお、一定時間が経過したバックナンバーは各固定書架に置く。
- (5) 新聞架
新聞 30紙程度を配置する。
- (6) 一時閉架
本施設は閉架書庫を設けないが、整理用の一時書架スペースを確保する。また、

4.2.6. 資料管理の考え方

資料管理は、IC タグを貼付することによって管理し、貸出・返却、予約本の受け取りなどは利用者のセルフ操作を基本とする。それで軽減する作業量で、より気づきが生まれるような資料の並び替えや、内容の紹介などを行っていく。

- (1) IC タグ
距離が長く、ゲートの幅を広く取ることができる UHF 帯（日本国内 UHF 帯RFID 割当周波数帯、ISO/IEC18000-63/EPC Gen2 準拠）図書用 IC タグを導入する。
ただし、他図書館での返却が可能のように、バーコード表示も併用する。
- (2) BDS ゲート
BDS（ブック・ディテクション・システム）ゲートとは、貸出処理が適切に行われていない図書や貸出することができない図書の持ち出しを検知するシステムのゲートである。

通常、自動貸出やカウンターで貸出処理を行うと、IC タグに貸し出されたことが記録される。この記録がない図書をもって、IC タグのアンテナが埋め込まれた BDS ゲートを通過すると、持ち出してはならない図書が持っていることを、チャイムによって知らせてくれるものである。

本施設で想定されている UHF 帯は通信距離が長く、ゲート間を 2 メートル程度以上取ることができる。

どの場所に何基設置する必要があるかは別紙（建築実施設計図書）に示す。

(3) 自動貸出スペース

自動貸出スペースは、利用者自身が自動貸出機（パソコン）画面でのタッチ操作によって、簡単に本の貸出処理を行うことができるスペースである。利用者にとって、自動貸出はどんな本を借りるのか人に知られることもなく、また人の手をわずらわすこともないので好評である。

機器	数量	備考
貸出処理用パソコン端末	3 式	タッチパネル、RFID ライターと接続。無停電電源装置等による自動起動・終了。

(4) 図書返却投入口・返却処理スペース

利用者が借りていた図書資料を返却する投入口である。

返却された図書資料は、RFID ライターによって仮返却処理がされる。その後、返却処理スペースにて図書スタッフが破損・汚れなどの確認をした後に本返却処理し、予約本／館内本／他館本に仕分けされる。予約本は予約本受取コーナーに運ばれる。

館内本は利用者の目に付きやすいように一時的に返却本架に置く。そして順次、図書フロア・コーナー毎に仕分けし、ブックトラックにまとめて上階に排架していく。

他館本はさらに館毎に仕分けされ、コンテナに入れられて集荷置き場に置かれる。

機器	数量	備考
図書管理用パソコン端末	1 式	RFID ライター、投入口モニタと接続
仮返却処理端末	1 式	
スタッフ用プリンタ	1 式	A4 カラー

(5) 予約本受取コーナー

予約した本を受け取るための場所である。予約者自身で行えるように、利用者カードを読み込ませると自分の予約した本が置いてある棚の位置を示す位置確認用端末が置かれる。

書架スペースの冊数は 1,500～2,000 冊程度とする。

機器	数量	備考
位置確認用パソコン端末	1 式	利用者カードで予約本の書架位置を確認するため

(6) 返却本架

返却処理されたばかりのものを並べておける書架である。排架前の仮置き場であるものの、利用者が手に取り、借りることができることを想定する。必要冊数は 1,000 冊程度。

(7) 返却ポスト

休館日や夜間に館外から返却可能なように返却ポストを設置する。

4.2.7. 市民ニーズの把握と公開選書の考え方

蔵書をすばやく組み替えていくためにニーズを捉える方法のひとつとして、公開選書の仕組みを整えていく。公開選書とは、図書館の見計らい本（購入前の見本の本）に対して何を購入するかを決めていく選書の過程を公開していき、利用者からの声を聴く場を設けるものである。

